



<http://www.jaaso.or.jp/>

# JA あそだより

平成27年6月



扇棚田(産山村)

## ■今号16ページ 主な内容

- 生産各部会の「定植・生育・出荷」状況
- 青壮年部、今季も「食育」へ取り組む!
- まるごとあそっ子ら、田植えを体験
- 頼りになります!「JA阿蘇ライフアドバイザー」

ほかJA阿蘇の情報を満載!



## ● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

## 生産各部会の「定植・生育・出荷」状況 ……「アスパラガス」「ヒゴムラサキ」

「阿蘇アスパラガス」  
品質・味ともに良好！  
11月まで出荷を計画

4月初め、阿蘇アスパラガスの春芽出荷が最盛期となり、生産者が朝早くからJA阿蘇一の宮選果場へ持ち込む姿が見られました。取材時、同選果場では日量平均1500ケース（1ケース5kg）を遠くは関東まで出荷。今年のアスパラガスは、2月中旬以降の保温開始時期以降に周期的な寒気が入り、地温が上がらなかつた影響で、春芽の収穫開始が前年より7日間程度遅くなりましたが、その後は気温が上昇し、例年に負けない品質となりました。

指導員の後藤真智職員は「今年は気温が低かつたので春芽の収穫開始が遅れたが、今から（4月以降から）が本格的な出荷となるので栽培管理の遅れが



選果作業の様子（4月3日撮影）

Ⅱ南部なす部会Ⅱ  
特産「ヒゴムラサキ」  
5月中旬より出荷始まる

南部なす部会では2015年産「ヒゴムラサキ」の定植が3月末より始まり、4月中旬に定植のピークを無事終えました。「ヒゴムラサキ」は10年以上前から高森地区の特産品として導入され、果肉が大変やわらかく、果物のよう

ないように呼び掛けていきたい」と話していました。

同管内の作付面積は、他品目からの転換や面積拡大などにより年々伸びて、2015年産については25haとなり、熊本県内の約30%を占める産地となつていきます。出荷は11月まで計画されており、各消費地での販売促進も予定されています。



いく計画です。2015年産の作付面積は2.8ha（前年同）、生産者17人（同）。出荷は5月中旬より開始されており、県内を中心に関東・中京地区の大都市圏に出荷されています。（写真上Ⅱ定植作業をする生産者Ⅱ4月5日撮影）

にそのまま食べることが出来ます。調理しても他の野菜類に紫色が移らず仕上がるので、調理しやすい茄子として年々市場や消費地の評価が高くなっており、東京などの大都市圏での販売にも取り組んでいることから、知名度も上がってきています。

生産者の三森伸治さんは「昨年に引き続き天敵昆虫による防除体系にも取り組み、今年は更に安全安心な品物を消費地へ届けていきたい」と、力強く話していました。

同部会では、生産面において天敵昆虫を取り入れた防除体系の確立を目指し、今年も天敵昆虫を中心とした防除ローテーションを組む予定です。また産地の課題となつている「半身萎凋病」対策として、新たな台木を導入することで安定生産を目指し、販売面では袋詰め販売による単価アップを目標に、消費地での販売促進活動にも力を入れて

3年前から天敵昆虫資材活用  
作業負担軽減にもつながる



南部なす部会では、消費者へ安全・安心な「ヒゴムラサキ」を届けようと、3年前から本格的に天敵昆虫資材を導入し減農薬防除に取り組んでいます。導入した天敵はスワルスキーカブリダニ。気温の上昇に伴い、発生が心配されるアサミウマ類を防除するのが狙いで、現在は作付面積の半分1ha強で使用。2015年産においては昨年までの防除体系を見直し、産地に適した防除体系の確立を図る計画です。

天敵資材は定植後30日以降に株へ散布するだけで放飼でき、作業時間は短く、農家の作業負担軽減にもつながっています。指導担当の後藤真智職員は「天敵資材を防除体系に組み入れることで、抵抗性対策と減農薬栽培につながっています」と、導入面積の更なる拡大に期待をしていました。（写真右Ⅱ天敵昆虫資材を散布する生産者）

## 生産各部会の「定植・生育・出荷」状況 ……「ピーマン」

＝ピーマン部会＝  
4月初め蘇陽地区で共同育苗

JA阿蘇ピーマン部会は、4月10日より蘇陽地区で2015年産の共同育苗を始め、生産者ら20人が購入セル苗の鉢上げ作業をしました。

高森地区は昨年までは共同育苗していましたが、病気発生経路遮断のため購入苗を定植します。蘇陽地区は昨年、定植直後に晩霜の被害を受けたこともあり、今年は育苗開始時期を1週程度遅らせました。

当日は露地栽培予定の「さらら」約4万本の鉢上げが行われました。今年度の作付品種は、ハウスでは「京まつり」、露地では「さらら」が主力品種となっています。同部会はハウス栽培主体の高森地区と、露地栽培主体の蘇陽地区で構成されており、品種の集約や販売数量の確保によって有利販売を展開しています。また、同部会では作付前の土壌分析により必要な施肥量を算出し、無駄

生育良好なピーマン苗  
5月中旬に定植ピーク迎える

蘇陽育苗施設では、共同育苗のピーマン苗が順調に生育しています。鉢上げ作業後は朝晩の冷え込みなどに対し育苗床にトンネルを設置し保温しました。また、作業後に雨天が続く生育の軟弱化が心配されましたが、天候回復とともにがっしりとした苗に仕上がりました。同管内のピーマン栽培はハウスと露地で、4月下旬から始まった定植は5月中旬にピークを迎えました。

しかし、ハウスでは「アザミウマ類」、露地では「炭そ病」の被害が深刻化しており、15年産においては購入苗の使用のない低コスト栽培を実践。ハウス栽培では2年前より天敵昆虫「スワルスキ」導入により防除体系に取り組んでいます。定植作業は5月上旬から中旬の予定となっています。  
(写真右上Ⅱ仮植作業をする生産者)



及び天敵昆虫による防除体系、圃場環境整備などを見直しています。

指導係の堀畑善美職員は「病害虫の発生状況と防除回数アンケート調査を行い、病害虫を出しにくい防除体系が把握できたので、今年はアンケート調査を基にした防除ローテーションによる指導をしていきたい」と話していました。

(写真右上Ⅱ生育状況を確認する職員／写真右下Ⅱ順調に生育するピーマン苗Ⅱいずれも4月24日撮影)

ⅡJA阿蘇南部地区Ⅱ  
「阿蘇ピーマン」順調な生育

JA阿蘇南部地区ではピーマンの定植が5月上旬より始まり、昨年のような晩霜被害はなく順調に生育してい

ます。同地区では、今年は晩霜被害を避けるために定植時期を7〜10日程度遅らせ、定植時期を揃えることで出荷ピークの数量確保を図っています。

同地区のピーマン出荷形態は「バラ詰め」が中心であるため、今年は単価の底上げを目的に「袋詰め」出荷を昨年よりも増やす予定です。また、定植時期を揃えることで出荷ピークを予想し、市場との連携と売場作りを早い段階から進めていく計画です。

販売担当職員の田上剣太郎職員は「生産者の手取りが少しでもアップする手段として袋詰め出荷を増やしていきたい」と話しています。

2015年産は生産者数42人(前年比93%)、作付面積5.5ha(同98%)。出荷は6月中旬からの予定です。



管理作業をする生産者Ⅱ5月26日撮影

## 生産各部会の「定植・生育・出荷」状況 ……「軟化ウド」「白ネギ」「水稻育苗」「場外ホームランメロン」

阿蘇の春の味覚「白水軟化ウド」  
5月上旬、好評のうちに出荷終了



白水ウド部会では4月10日から春の味覚である「軟化ウド」の出荷を始め、5月上旬まで県内を中心に広島・倉敷へ出荷しました。4月上旬、出荷量は日量40〜50ケース（1ケース4kg）程度でしたが、最盛期には日量約80ケースの出荷となりました。白水地区では約20年前に地域特産物作りの一環として「軟化ウド」栽培が導入され、以後、阿蘇の春の味覚を届ける品目として県内外の消費地から高い評価を得ています。同地区のウド栽培は、関東地域の防空壕を利用した栽培形態とは異なり、簡易の横穴を作り、秋口に根株を伏せ込み暗闇で発芽させ、80cm程度に育てたものを収穫する方法です。2015年産は1人（前年2人）、出荷予定数量600ケース（前年比60%）となっています。（写真＝春の味覚「白水軟化ウド」＝4月13日撮影）

4月、阿蘇「白ネギ苗」配布  
揃いが良く、生育良好



JA阿蘇白ネギ部会は、2015年産白ネギ苗の配布を4月11日、久木野育苗センターで行いました。当日は生産者ら10人が参加し「夏扇4号」を中心に3品種の苗が配布されました。

今年から新規で作付をする今村康太さんは「苗質も良く、今後の生育に期待したい」と話していました。

管内の定植作業は4月20日頃から始まり、販売担当の森谷峻職員は「安全安心な農産物作りを徹底し、消費地へ安定供給していける産地作りをしていきたい」と、抱負を語っていました。

2015年産の栽培概要は、生産者7人（前年比175%）、作付面積2.3ha（同143%）となっています。同地区での白ネギ栽培は、葉たばこ廃作からの新規作物として栽培が始まり、秋から冬にかけての安定収入を目標に栽培が行われています。（苗の積み込み作業をする生産者＝4月11日撮影）

久木野育苗センター＝  
4月上旬、水稻育苗作業スタート  
年々広がる需要



JA阿蘇久木野育苗センターでは、2015年産水稻苗の播種作業が4月上旬から本格的に始まり、5月末まで作業が続きました。

同育苗センターでは「コシヒカリ」「あきげしき」「ヒノヒカリ」の3品種を生産しており、南部地区を中心に育苗箱で約7万箱（育苗箱20箱＝10a分）を納めました。価格は1箱あたり530円（税別）です。

作業工程としては最初に機械による播種作業が行われます。播種機は1時間あたり1000箱の播種ができる能

力を備えています。作業が終了した育苗箱は室温30度の出芽室で芽出しを行います。芽出しが終わった苗については隣接するガラスハウスで草丈3〜4cmまで緑化させ、育苗専用のハウスに移動させます。そして、播種後3週間ほどで納品となります。

担当の長崎翔職員は取材時「今年は気温が低い日が多いので、ハウス内の温度管理は昨年以上に気を付けている」と話していました。（写真上＝播種作業をする作業員＝4月中旬撮影）

白水メロン部会＝  
時期・数量限定「阿蘇メロン」  
贈答用として遠くは北海道まで

阿蘇南部地区の「阿蘇メロン」は順調に生育し、5月下旬から県内外への出荷が始まりました。その中でも人気が高い「場外ホームランメロン」は5月上旬から予約受付が始まっており、関係者はその対応に追われています。

この「場外ホームランメロン」は、白水メロン部会が約10年前より規格外品を有利販売するために取り組んでいる出荷規格です。栽培方法も通常とは異なり、1株に6個着果するのを3個に制限し、大玉で甘い高品質のメロンとして栽培・販売しています。

## 生産各部会の「定植・生育・出荷」状況 ……「阿蘇メロン」「キャベツ」

※前ページから続く



そのため年々固定客も増え、贈答用としても需要が多く、遠くは北海道まで送られています。

販売担当の田上伊織職員は「購入された方からの喜びの言葉が年々増えており、今年も安全安心なメロンを届けたい」と話しています。

同部会では生産者の写真も撮影し、出荷時にメロンと一緒に生産者の紹介文も添え、消費者へ届けるようにしています。「(場外ホームランメロン)の生育状況を確認する職員」5月10日撮影

甘い♡「阿蘇メロン」出荷開始の品質・味ともに良好

南部地区で春メロンの出荷が5月27日より始まりました。当日は南部野菜センターに早朝から生産者が持ち込む姿が見られ、この日は約250ケース(1ケース5kg)が出荷されました。今年も定植後に朝晩の気温低下が

影響し生育の遅れが心配されましたが、品質・味は良好で3L中心の出荷となっています。

白水メロン部会ではポジティブリスト制度を遵守するとともに、消費者に渡つても生産者が特定できるよう生産者番号入りシールを1玉ずつ貼って出荷しています。最盛期となる6月上旬には日量400〜500ケースの出荷が予定されています。

販売担当の田上伊織職員は「今年も品質は良好で、安全安心の美味しいメロンを消費者へ届けることが出来る」と話していました。また、同部会では6月2日、熊本県庁で阿蘇メロン直売を開催しました。

2015年の作付概況は、生産者8人(前年同)、作付面積2.5ha(同)となっています。



出荷前メロンを検査する担当職員  
(5月27日撮影)

＝中部メロン部会＝  
品質・食味ともに良質  
6月中頃まで好評出荷!



初出荷メロンを検査する担当職員  
(5月28日撮影)

JA阿蘇中部地区では、阿蘇特産のメロン出荷が5月28日から始まりまし

た。2015年産は2月下旬から定植が始まり、日照不足や低温で例年より3〜5日遅れの出荷となりました。今年も初期の樹勢管理が難しかったものの、朝晩の寒暖の差があり食味は申し

分なく、糖度は15度以上あり良質なメロンが出来上がりました。

阿蘇中部メロン部会では3品種(ホームラン・アンデス・肥後グリーン)の

栽培に取り組んでおり、出荷は6月中旬まで行われます。

出荷初日、初検査を行った販売担当の岩下愛広職員は「今年のメロンは品質・食味とも良好なので、自信を持って販売したい」と語っていました。

キャベツ順調な生育  
販売額3400万円を見込む  
＝JA阿蘇南部地区＝

南部地区では3月末より定植が始まったキャベツが順調に生育しています。今年も昨年のような晩霜被害はないものの、天候に恵まれず一部の圃場では病気の発生が見られましたが、その後の天候回復に伴い順調な生育となっています。定植は8月まで段階的に行われますが、梅雨時期の「べと病」発生が今後の課題の一つとなっています。

指導担当の後藤真智職員は「昨年同様、梅雨期前の生育管理と防除体系

※次ページに続く

## 生産各部会の「定植・生育・出荷」状況 ……「キャベツ」「デルフィニウム」「トマト」

※前ページから続く

を見直していきたい。また効率的な薬剤散布を呼び掛けていきたい」と、今後の取り組みを話しています。また昨年引き続き「生産者へ栽培管理や病害虫防除について情報を記載した『南部キャベツ便り』を定期的に発信していくことで、生産者へ迅速に情報が繋がるようにしていきたい」と語っています。

2015年産については生産者5人（前年比83%）、作付面積12ha（同92%）、数量420t、販売金額3400万円を計画しています。



写真Ⅱ生育状況を確認する担当職員

### ＝野尻地区＝ デルフィニウム出荷ピーク 作付前年比130%に拡大



生育状態を確認する生産者の白石豊和さん＝4月中旬撮影

JA阿蘇野尻地区では4月下旬、デルフィニウムの出荷がピークを迎えました。地区のデルフィニウム栽培面積は30a、生産者は4人。生産者の一人・白石豊和さんのハウスでは、取材時、週3回の収穫作業が行われており出荷ピーク間近となっていました。

白石さんは「梅雨時期の花落ち対策が一番の課題」と語り、その時期の栽培管理をシーズンごとに見直し改善を重ねてきました。その結果、出荷市場の評価は年々高まり、今では野尻地区はデルフィニウムの重要な産地となりました。市場担当者も「夏場の貴重な産地として位置付けており、今後も更なる発展が期待できる産地」と話しています。出荷は8月まで九州市場を中心に行われ、最終的には6万本の出荷を計画。また、新しい水上げ補助剤の試験や市場と荷姿の協議も今後行っていく予定です。

### 「阿蘇トマト」6月中旬 出荷開始を見込む

＝南部トマト部会＝



JA阿蘇南部地区では、4月下旬から始まった大玉トマトの定植作業が5月上旬終盤を迎えました。今年は寒さが続いた昨年と比べると遅れもなく順調に作業が進み、早い作型では6月中旬からの出荷開始が見込まれています。

南部トマト部会の犬塚賢治さんは「今年は育苗期の気温低下があまりな

## 組合員資格確認について

当JAに届け出て頂いている内容(氏名、住所、組合員たる資格の別等)に変更があった場合には、

JA阿蘇本所 総務部総務人事課  
(TEL 0967-22-6111)迄  
ご連絡ください。



く、管理はしやすかった」と話し、今後の生育に期待をしています。同部会では定植前に各ほ場の土壌分析を行い、適正な肥培管理をすることで高品質なトマトを作ることを目指しています。

同地区2015年の生産概況は、生産者70人(前年比95%)、面積19.4ha(同88%)、出荷数量1848tとなっています。(写真上Ⅱ定植作業をする犬塚賢治さんⅡ5月9日撮影)

## JA阿蘇青壮年部、各地域で小学生向け食育活動に取り組む！

**阿蘇コシヒカリ  
ミラノ万博『熊本県の日』へ  
JA阿蘇青壮年部一の宮支部が  
坂梨小の児童らと田植え**

JA阿蘇青壮年部一の宮支部は5月21日、阿蘇市立坂梨小の児童らと学校近くの水田で田植えをしました。この試みは15年前から毎年5年生と一緒に食育、総合学習の一環として行ってきましたが、同校は来春で閉校になるため56人の全児童が参加しました。

石松秋洋支部長ら盟友11人は児童らに田植えの指導を行い、児童らは田植え網に沿ってコシヒカリの苗を2時間ほどかけて5aの水田に植えました。児童らは疲れた様子でしたが、「土のぬるぬるが気持ち良かった」「みんなと田植えが出来て楽しかった」などと笑顔で感想をもらっていました。

9月に収穫する30kgのコシヒカリは10月にイタリアのミラノ万博で熊本県をPRする料理に使用される予定です。6年生の児童は当日のお礼の言葉で「ミラノの人たちに日本一の阿蘇のお米を食べてもらうのがとても楽しみです」と述べました。今後の水管理などは青壮年部が行い、2回程の草取りは児童らがする予定です。（写真下二いずれも田植えをする坂梨小の児童ら）



**「大変だったけど楽しかった！」  
バケツ稲で食育活動**

**JA阿蘇青壮年部長陽支部**

JA阿蘇青壮年部長陽支部は5月26日、南阿蘇西小4年生とバケツ稲作りをしました。この活動は同支部が企画。昨年に続き2年目の取り組みとなります。当日は盟友ら5人が子供たちのバケツ稲作りを手伝いました。

バケツに土と水を入れて、ドロドロになった土の感触を確かめながら土をこねて苗を植えました。参加した子供たちから「土を混ぜるのが大変だったけど楽しかった」、「ドロドロの土が気持ちよかった」などの感想が聞かれました。

塚元健太郎支部長は「自らの手で作物を育てることで、どのようにして作物ができるのかを経験し、食べ物を作る難しさ、食べ物のありがたさを知ってほしい」と話していました。

同支部では今後の活動として、野菜作りも計画しており、同フレッシュミズと共同で自分たちで作った野菜を使用した「ピザ作り」を予定しています。



バケツ稲作りを指導する青壮年部盟友と南阿蘇西小の子供たち

LAトレーナー



室 富美幸 中島ひろみ 秋吉 武臣

もしもの場合、お役に立ちます！  
**私たちJA阿蘇のライフアドバイザー(LA)です。**

「建物更生共済むてき」なら、ひとつの共済で、火災や台風だけでなく、地震にも、ケガにも、しっかり備えることができます。

産山



佐藤ひろみ

阿蘇町



荒木美智代 永富 浩司 吉田 紀子 阿部 泰隆 山内美奈子

一の宮



筑紫百合香 市原 幸代 中嶋 幸代 山部 聡輔 石田 義則



鎌倉 柳二 松本 博美 中村 薫 佐藤 邦博

南部Aブロック



市原 俊昭 小林 勝人 中川 慎一 今村 昭洋 長野 淑美 中島佐代子

小国郷



出口 創平 久野 敏和 永野 幸雄 金丸 美和 堀川 美紀

南部Bブロック



本田 雅康 工藤 真紀 岩下 悟



大塚 孝政 佐藤 稔 伊藤 豊



阿南喜和子 佐藤浩一郎 春木 光幸

波野



山口 優子



私たちに  
お気軽に  
ご相談ください!

# 泥ん子、あそっ子、田植え体験

## 第10回JA阿蘇「まるごとあそっ子スクール」開校

JA阿蘇は5月16日、『まるごとあそっ子スクール』を開校しました。今回(今年)で10回目の開催となり、阿蘇郡市の小学校よりこれまで最多の45人が入校しました。開校式では、あそっ子スクール校長の原山寅雄組合長が「あそっ子で、いのち・食べ物・農業のありがたみを学んでください」と挨拶。入校生を代表して南阿蘇西小学校6年の井川真希さんが、「とても楽しみです。いのち・食べ物・農業の大切さを学び、いろんな小学校のお友達と仲良くしたいです」と挨拶しました。

開校式の後、食味ランキング特A評価の「森のくまさん」を田植えしました。



農業の  
ありがたみを  
学んでください

苗を受け取った

あそっ子らは、地元青壮年部の説明を聞き、いっせいに田んぼに入りました。あいにくの雨の中、泥の感触に戸惑い、泥まみれになりながらも一生懸命になって植えました。あそっ子達は「田んぼの中では、うまく歩けずに田植えが難しかったけど楽しかった。秋の収穫が楽しみ」などと感想を話していました。今回田植えした稲は第4回目の活動で収穫する予定です。

田植えの後は味噌作りにも挑戦しました。次回のおそっ子スクールは7月上旬、玉名市岱明町で「地引網体験ツアー」に挑戦する予定です。



田植え、  
がんばったよ!

雨が降っていても  
田植えでヒース!



味噌作りにも  
挑戦!



田植え体験に参加したあそっ子とスタッフの皆さん

JAバンクは、どなたでも  
ご相談いただけます。

# JAバンク熊本で夏の貯金！ 金利上乘せで

## 夏得シヤンプ!

金利  
上乘せ

JAバンク  
**夏得**  
キャンペーン  
2015

**+0.2%** (年利)  
店頭表示金利に

[プレミアム] 店頭表示金利+年利0.2% (熊本県下募集総額) 定期貯金 200 億円 / 定期積金 20 億円  
キャンペーン期間：平成27年6月15日(月)～平成27年8月31日(月)

定期貯金 **30万円以上** 新規ご契約  
(預入期間：1年以上)

定期積金 **100万円以上** 新規ご契約  
(預入期間：2年以上)

JA阿蘇  
限定  
プレミアム

◎定期貯金 **10万円以上30万円未満**  
(預入期間1年以上)  
◎定期積金 **50万円以上100万円未満**  
(預入期間1年以上)  
新規ご契約のお客様に

**0.1%** (年利) 金利  
上乘せ

※既に当JAにお預け入れいただいている定期貯金解約後の新規ご契約は、金利上乘せの対象外となります。  
※募集額に到達した場合、キャンペーン期間中でも販売を終了する場合がありますのでご注意ください。

●ご契約いただける方は個人の方に限ります。●上乘せ金利の適用は、お預け入れ時から初回満期日までの当初預け入れ期間のみとさせていただきます。自動継続後は店頭表示金利を適用します。●上乘せ金利は、今後の金利情勢その他の事情により、変更する場合があります。●中途解約された場合は、解約時の当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。●お利息(給付補填金)には復興特別所得税を付加した、20.315%の税金がかかります。



©ちよリス



ちよきんぎょ®

JAの商品等について  
詳しくは店頭またはホームページで  
ご確認ください。

JAバンク熊本ホームページ  
<http://kumamoto.jabank.org> JAバンク熊本 検索

JA阿蘇

# リフォームキャンペーン開催!!

期間：平成27年7月1日～平成27年9月30日まで

※キャンペーン期間中の情報物件で平成27年12月31日までに完工物件とします。

## 省エネ住宅ポイントで 今がリフォームのチャンス!!

「省エネ住宅ポイント」は、エコ住宅の新築またはエコリフォームをした場合に、条件に応じたポイントが発行され、そのポイントをリフォーム工事費用やエコ商品・商品券等と交換できる制度です。

### ご成約 キャンペーン

(株)エコーブ熊本 商品券  
もしくは Nツアー 旅行券  
○工事金額 100万円(税抜) 以上で 2万円分  
○工事金額 200万円(税抜) 以上で 5万円分  
**プレゼント!!**  
さらに抽選で1名様に  
シャープ製  
スリムイオンファン  
が当たります!!



お部屋の空気もきれいにする  
スリムファン

#### 省エネ 住宅設備 リフォーム

サティス  
ECO4  
ECO5  
ECO6  
節水型トイレ  
24,000ポイント

サーモバス  
高断熱浴槽  
24,000ポイント

エコルシャワー  
節湯水栓  
3,000ポイント

#### 窓の断熱 リフォーム

#### 内窓設置

既存窓の室内側に  
樹脂内窓を追加取付けて  
「二重窓」にする

※内窓の交換でも可

#### 窓交換

古いサッシを枠ごと取外し  
新しい断熱窓を取付ける

※増改築に伴って新設されるものでも可

#### ガラス交換

単板ガラスを  
アタッチメント付き  
複層ガラスに取替える

既存窓 アタッチメント付き  
複層ガラス

### エコリフォーム の対象となる 工事

- 《対応エコリフォーム》 ①窓の断熱改修… 1.内窓の設置 2.窓交換 3.ガラス交換  
②外壁、屋根・天井又は床の断熱改修 ③設備エコ改修(3種以上を設置する工事)
- ④その他の工事等
- A. バリアフリー改修 最大60,000ポイント
  - B. エコ住宅設備の設置 各24,000ポイント ※節湯水栓のみ3,000ポイント
  - C. リフォーム瑕疵保険 11,000ポイント
  - D. 耐震改修工事 150,000ポイント
  - ⑤既存住宅購入加算 最大100,000ポイント

【工事対象期間】 平成26年12月27日(閣議決定)～平成28年3月31日 ※予算額に達した場合は期限前でもポイントの発行は終了となります。

## シロアリ防除・外壁工事・瓦葺き替えのご相談も JA へ

- 【シロアリ防除】
- 【外壁工事】
- ・外壁
- ・塗装
- ・エクステリア等
- 【瓦工事】
- ・瓦葺き替え
- ・屋根塗装等



新築当時に  
もどった様に  
こんなに  
きれいに  
なりました。

お問い合わせ  
お申し込みは

最寄りのJAまたは JA HOUSE

(株)エコーブ熊本 住宅事業部 TEL:096-344-6340  
〒860-0085 熊本市北区高平2丁目25番57号 ホームページ JA HOUSE 検索



# シロアリ防除は JAへ



羽アリを見かけたら、シロアリがいる可能性があります!!



シロアリの侵入は許さない!!

大切なお家を  
シロアリ被害から  
守ろう!!



## シロアリ

土の中を移動し、床下から蟻道を作り建物に侵入して木材等を食害します。とても注意深く、土の中や木材の中で、一年中活動をしています。



## 羽アリ

春から初夏にかけてシロアリの一部が新しい巣を作るために羽アリとなって飛び立ちます。この時期が発見の大きなチャンスです。

シロアリは  
見えない床下で  
食害し続けます

## シロアリ防除のご相談は JAへ

### 床下無料調査実施中

無料で床下点検・点検結果の報告を行い、お客様にあった防除をお勧めします。その後、お客様から申し込みがあった場合に、有償にてJA取扱業者が防除を行います。

### シロアリによる食害

シロアリの主要食物は木材です。床下の束柱や床下の柱はもちろん畳や紙も食害します。家の基礎がコンクリートだからといって油断は出来ません。わずかな隙間から穴を開けて侵入してきます。



お申込み・お問い合わせはお近くのJA（農協）へ

## 2015年度推進目標を確認 JA阿蘇全体職員事業推進大会



「役職員一丸となり頑張ろう」と挨拶する原山組合長

JA阿蘇は2015年度事業目標必達に向け5月23日、全体職員事業推進大会を阿蘇市で開き、役職員ら435人が参加しました。

原山寅雄組合長は冒頭に「職員一人一人が目標を掲げ、常に向上心を持ち地域住民に頼られ、信頼おけるJA阿蘇を目指し役職員一丸となって頑張ろう」と挨拶しました。

15年度の事業計画・推進目標については、①地域農業の振興・地域農業戦略の実践、②組合員・利用者のニーズに即した総合保障提供の実現、③利用者から選ばれ地域に信頼される金融機関として、利用者保護の徹底と満足度向

上による貯金・貸出金の伸長及び年金シニア向上の取り組みによる安定的な事業基盤の確立、④農家・担い手の所得確保を図るため、的確な情報の提供による生産資材等の低コスト化、及び生活事業における豊かな暮らしの貢献と食の安全・安心を提供する事業の展開、⑤自己資本の増強等財務基盤の強化、⑥不祥事未然防止の充実強化の6項目を基本方針に事業活動を展開していく事を確認しました。

また、熊本中央会の本田浩部長が「JAグループの不祥事状況および今後の対応について」と題し、講演を行いました。



写真上||講演を行う熊本中央会の本田部長  
写真下||講演を聴く役職員の皆さん

## 「永年、ご苦労様でした！」 JA阿蘇の退職者表彰式



JA阿蘇は4月16日、平成27年3月31日付けで定年退職された4人の退職者表彰式を本所で行いました。

原山寅雄組合長から退職者へ感謝状と記念品が贈られ、永きにわたりJA阿蘇職員として組合運営に貢献されたことへの功績をたたえ、その労を労いました。

表彰された今村孝誠さんは「JAでの経験を生かし、今後とも地域のために貢献が出来るように頑張りたい」と話していました。

(右写真||定年退職された方々)



## 農林中金「満点運動」で表彰 橋本由美職員(阿蘇町中央支所) 小堀 文職員(高森中央支所)

農林中金熊本支店が展開する渉外担当者「満点運動」で、JA阿蘇から2人の職員が表彰されました。この満点運動は県下のJA渉外担当者130人を対象に、①定期貯金、②定期積金、③ローン、④年金、⑤給振、⑥JAカード各部門の4月から翌年2月までの11カ月間の渉外担当者の実績を表彰するものです。

今回、「定期積金部門」3位・「総合部門」6位に阿蘇町中央支所の橋本由美職員、「給振部門」1位・「総合部門」9位に高森中央支所の小堀文職員が輝きました。表彰式は5月18日、熊本市のホテルニューオータニで開かれた「JAバンク熊本渉外担当者研究大会」で行われました。



表彰された橋本由美職員(左)と小堀文職員

## 理事会・監事会報告

### ■平成27年度第1回理事会

日時 平成27年4月23日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

調査報告

委員会報告(総務委員会・経済専門委員会)

3月末実績報告について

平成26年度決算監査期中改善指示書(資産の自己査定等)について

- 1) 「農地利用円滑化事業規程」の変更について
- 2) 肥育素牛供給事業「譲渡担保設定契約証書」の変更について(案)
- 3) 平成27年度家畜導入計画及び貸付利率について(案)
- 4) 平成27年度産米出荷契約金設定について(案)
- 5) 平成27年度固定資産取得・処分について(案)
- 6) 平成27年度減損処理見込みについて
- 7) 貸付金(利益相反)について
- 8) 地公体貸付(報告事項)について
- 9) 給与規程の改正について(案)

報告事項

- 1) 平成26年度全国監査機構決算期末監査計画について
- 2) 不祥事再発防止策内部監査実施状況報告(平成27年1月～3月)について
- 3) 平成26年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況(27年3月末)について
- 4) 不祥事未然防止のための行動計画部署別進捗管理個票の27年3月末報告について
- 5) 平成27年度ゴールデンウィークのATM稼働について
- 6) 各専門委員会等の委員について
- 7) 出資金の状況について

4. 閉会

### ■平成27年度第2回理事会

日時 平成27年4月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

- 1) 平成26年度資産査定結果について  
貸出付議案件綴にて
- 2) 平成26年度事業報告及び関連事項について  
(第14回通常総代会資料にて)
  - 2)‑1 経営基盤強化積立金について(案)
  - 2)‑2 年度末手当について(案)
- 3) 平成27年度事業計画及び関連事項について
  - 3)‑1 役員報酬について(案)
- 4) 第14回通常総代会提出議案について
- 5) 代行施行について ↗

6) 固定資産取得について

4. 閉会

### ■平成27年度第3回理事会

日時 平成27年5月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

4月末実績について

- 1) 平成26年度最終決算について
- 2) TPP交渉における国会決議の実現に向けた特別決議について
- 3) 総代会開催に伴う総代に対する招集通知等について
  - ① 招集通知
  - ② 総会参考資料
- 4) 平成27年度余裕金運用計画について

報告事項

- 1) 阿蘇農協座談会日程等について
- 2) JA阿蘇活動3ヶ年計画の27年3月末進捗状況について
- 3) 平成26年度職制規程変更に伴う固定資産取得実績について
- 4) 県域ローンセンター媒介業務実績(四半期末実績報告)について
- 5) 事務ミス等の発生状況について
- 6) 平成26年度余裕金運用状況について
- 7) 平成27年度購買事業推進について
- 8) 輸出入出荷について
- 9) 中部地区集出荷場建設スケジュールについて
- 10) 要改善JA(指導区分「5」)の指定について

4. 閉会

### ●平成27年度第1回監事会

日時 平成27年4月14日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成26年度導入家畜等棚卸監事監査回答書について
- 2) 平成26年度決算棚卸監事監査報告(案)について
- 3) 平成26年度決算監事監査について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告について(3月)
- ② 常勤会議報告について(第1回、第2回)
- ③ 不祥事再発防止策 内部監査実施状況報告書(1月～3月)
- ④ 全国監査機構決算期末監査日程について
- ⑤ 行事予定について

4. 閉会



あたらしい『はっけん』がっぱい

# あそっ娘☆短期大学

JA阿蘇では、『食』と『農』を主に文化、福祉、子育てなど様々な分野のキャリアラムを通じ、受講者の皆様の自己啓発と相互交流や親睦を深めていただくため、『あそっ娘☆短期大学』の受講生を募集しています。  
新しいことを始めて、自分磨きをしてみませんか？

## 受講生募集

JA阿蘇 営農部

0967-22-6115

(FAX)0967-22-6117

熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5

E-mail: jaaso-einoubu@jaaso.or.jp

受講対象者

JA阿蘇管内の一般女性

入校料 2,000円

※材料費は別途必要になります。

募集定員 30名

※応募者多数の場合は抽選します。

募集締切 定員になり次第、締切ります。

※お問い合わせはJA阿蘇営農部までご連絡下さい。